

1,400頭の飼い主の皆さんへ

みんなが憤慨、犬のフン害

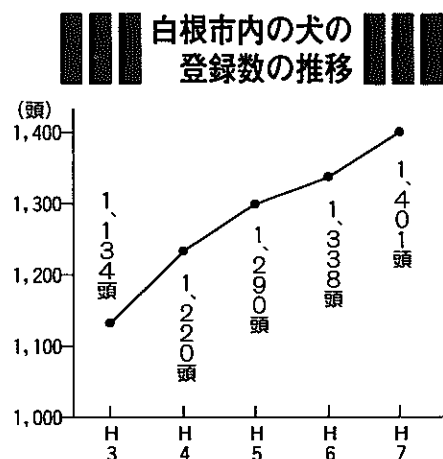
犬、猫は正しく飼いましよう

平成七年度末現在、市内の犬の登録数は約一千四百頭。この登録数は年々多くなってきています(グラフ)。ペットブームの昨今、きちんとした飼い方をしている飼い主が増えました。それでも「ふんが道路や公園に放置されている」「犬が放し飼いにされて怖い」「犬や猫を捨てていく人がいる」といった苦情が市役所や保健所にたくさん寄せられています。世の中、動物好きの人ばかりではありません。飼い主は責任を持って飼いましよう。

1日200キロ 1年で約100トンのふんが…

平成七年度末で、白根市内で登録されている犬の数は一千四百頭。もし、この犬たち一頭が一日二百グラムのふんをするとするならば市内で一日約二百八十キロのふんが出る事になります。一年間で約百トンにもなります。これだけの量が市内各地に放置されたとしたら、大変な事になります。

最近ではマナーの良い飼い主が増えました。とはいえ、市や保健所に対してふんに関する苦情が後を絶たないのも事実です。「どうせ



だれも見えないから」「いつか肥やしになるんだし」「ここは人が通る所じゃないから」—そんな理由でペットのふんを置いていく人がいます。

ふんをするのはペットたちですが、その後始末は飼い主の責任です。道路にふんが落ちていたり通る人にとっては非常に嫌なもの。公園の砂場にふんがあつては子供たちも安心して遊べません。散歩中には袋など(スノーパールの買利物袋で十分です)を持って拾い、便槽に入れるなどして責任を持って始末するようにしましょう。

「怖い!やめて」 犬の放し飼い

「どうもヘビが苦手で」「毛虫は嫌いなんです」—だれでも嫌いな生き物が一つ、二つはあつたりします。同様に犬嫌い、あるいは猫嫌いの人もたくさんいるものです。

特に大型犬は、大好きの人にさえ恐怖感を与えることがあります。広報係に寄せられた



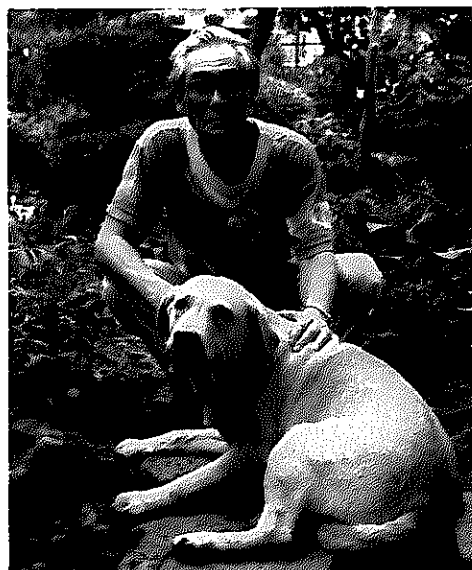
手紙にこんなものがありました。「前の家は大型犬を家の中で放し飼いにしているのですが、玄関の戸が開け放しなんです。猫の出入りのためらしいんですが、幼児がいるので、おちおち外で遊ばせません」。

ペットのために 愛情と責任を持って

少なくともなりませんが、今だに捨て犬、捨て猫が見られます。犬や猫、その他のペットも愛情を持って育ててあげましょう。どうしても飼えなくなった場合は、きちんと飼える人に譲ってください。それができないときは県央動物保護管理センター(中之口村三ツ門 375・5140)に引き取り(有料)を求めるようにしてください。

また法律により生後九十一日以上の子犬は、生涯で一回の登録が義務付けられています。狂犬病の予防注射は毎年一回必ず受けなければなりません。登録と予防注射、いずれも最寄りの獣医師の所で必ず行ってください。犬が死亡した場合や登録事項に変更があつた場合は、保健所または市役所まで届け出を出してください。

■問い合わせ 新津保健所衛生課(☎0250・22・5171)、市役所市民生活課環境係(☎373・2111)④202、203



▲加茂さんとドビー君

子供のいる時間帯は ずらして散歩

加茂昭夫さん (桜町2)

写真の犬はドビー君。ラブラドルトリバー種の五歳の雄です。「大きいから怖がる人もいるんでね。必ずひもを付けて散歩させています」と加茂さん。散歩に出るときも「保育園のわきを通るときには、子供のいる時間帯はずらすようにしていますね」など大型犬の飼い主として十分気を使っています。

「世の中、犬が好きなのはいいけれど、犬が好きな人ばかりじゃないでしょう。人の迷惑にならないようにしないとね」と加茂さん。責任ある飼い主のおかげでドビー君も安心の毎日です。

家族の一員として 愛情を持って

笹川信雄さん (五六の町2)

朝夕の一日二回、ポニーちゃんを連れて散歩に出る笹川さん。ふんを入れるためにスノーパールの買利物袋は必ず持ち参。中には四つ折りにした広報紙が二、三枚入っています。「折り目を付けておくとふんをつかみやすいんです。人の迷惑にだけはならないようにしないとね」と笹川さん。「草むらでふんをされると取りにくくなるでしょう。そんなときは引つ張って、草むらから離してさせています」と話します。

が笹川さんに拾われたのは二年前。今ではすっかり笹川家の一員です。「犬でも猫でも家族の一員として見てあげることが大切。そうするとふんの始末でも何でも自然体で世話をしあげられます」。

笹川家はみんなが動物好き。「ペットたちは私たちが思っている以上に「家族の一員」という意識が強いんです。平等に愛情を与えてあげないとね」。そう言って優しく笑う笹川さんです。

マナーの良い飼い方、心掛けています

▼笹川さんとポニーちゃん

